



まん延防止等重点措置が 実施されています！

令和3年8月25日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和3年第33週分・8月16日～8月22日)

《インフォメーション》

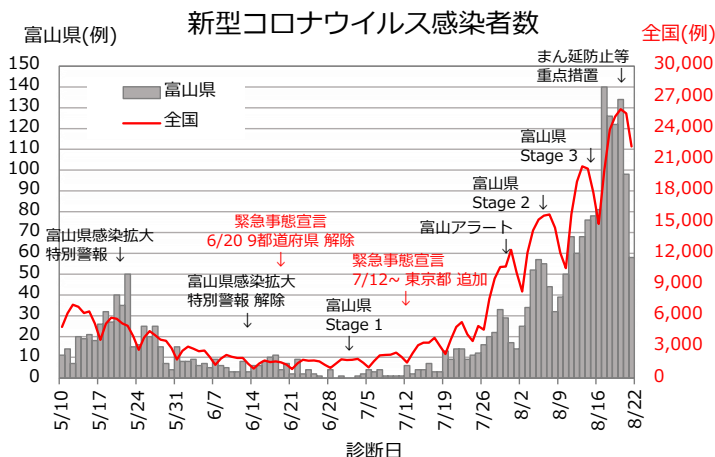
●新型コロナウイルス感染症

国内の新型コロナウイルス感染者数は、8月22日時点で1,300,353例となり、15,631例の死亡が確認されています。全国で新規感染者数が急増し(図;折れ線グラフ)、感染が爆発的に拡大しています。このため8月20日からは緊急事態宣言の対象が13都府県に拡大され、まん延防止等重点措置は富山県を含む16道県で実施されています。

県内の今週の新規感染者数は759例報告され(図;棒グラフ)、8月22日時点の累積感染者数は3,819例になりました。とりわけ8月18日以降、連続5日間、新規感染者数が1日100例を超えて急増しています。

県内での感染者は20代を中心とした若年層で多く報告されており、県外からの帰省、大人数での会食等で、家庭内や友人・知人間で感染が広がった事例が複数認められています。普段会っていない人との飲食、自宅であっても大人数での食事会等は自粛しましょう。これまで通りの基本的な感染対策を行いつつ、県内全域で昼夜を問わず、外出や移動を控えることが求められます。

衛生研究所では、6月上旬から感染性が高いデルタ株を検出するためのL452R変異検査を実施しており、8月16日～8月22日のL452R変異検査は272件中265例(97%)が陽性となり、ほぼアルファ株からデルタ株に置き換わりました。変異株に対しても、感染拡大を防ぐための手指消毒やマスク着用、十分な換気、対人距離を保つといった個人が取り組むべき感染対策は同じです。デルタ株による感染拡大を防ぐため、引き続き高い緊張感を持って行動していただくことが重要です。発熱等の症状で医療機関を受診する際には、電話相談のうえ、かかりつけ医等の指示に従ってください。相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター(076-444-4691;24時間対応)にご連絡ください。



《全数報告の感染症》

- 新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 759件
- 二類感染症 結核 3件 (①70歳代、男性 ②③ともに80歳代、男性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件 (30歳代、女性、O121、VT2)
- 四類感染症 E型肝炎 1件 (70歳代、女性)
- レジオネラ症 2件 (①②ともに60歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件 (80歳代、女性)
- 梅毒 1件 (20歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅱ期)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位7疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	1.52 (↓)	1.90
2位	RSウイルス感染症	1.45 (↓)	2.17
3位	突発性発しん	0.34 (↑)	0.24
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.17 (↓)	0.31
	ヘルパンギーナ	0.17 (↓)	0.62
6位	咽頭結膜熱	0.14 (↑)	0.07
	水痘	0.14 (→)	0.14

○感染症発生動向調査報告状況（令和3年第33週 令和3年8月16日～令和3年8月22日）

分類	疾患	今週報告分（第33週）							累積報告数（令和3年第1週（1月4日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	69	52	174	45	408	11	759	292	227	853	222	1,570	75	3,239
二類感染症	結核	1		1		1		3	9	6	25	11	32		83
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症					1		1		1	5	1	3		10
四類感染症	E型肝炎	1						1	3				1		4
	A型肝炎								1						1
	つつが虫病								1						1
	レジオネラ症			2				2	1	3	10	1	5		20
五類感染症	アメーバ赤痢								1						1
	ウイルス性肝炎								2				1		3
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症			1				1			2	2	3		7
	急性脳炎										1		1		2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症										3	1	2		6
	後天性免疫不全症候群								1				1		2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1	1	1		3
	侵襲性肺炎球菌感染症								1		2		10		13
	水痘（入院例）												1		1
	梅毒					1		1	1	1	4		17		23
	播種性クリプトコックス症												2		2
	破傷風											1			1
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										5			
RSウイルス感染症		1		5	35	1		42	129	123	1,566	352	813		2,983
		0.25		0.63	8.75	0.10		1.45							
咽頭結膜熱		2			1	1		4	34	38	132	7	139		350
		0.50			0.25	0.10		0.14							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				2		3		5	61	37	436	82	213		829
				0.25		0.30		0.17							
感染性胃腸炎		15	10	5	2	12		44	580	310	496	179	1,126		2,691
		3.75	3.33	0.63	0.50	1.20		1.52							
水痘				1	2	1		4	1	6	27	10	36		80
				0.13	0.50	0.10		0.14							
手足口病				1	1			2	7		13	2	12		34
				0.13	0.25			0.07							
伝染性紅斑		1						1	1	1	9	1	19		31
		0.25						0.03							
突発性発しん		1	3	2		4		10	44	29	111	45	100		329
		0.25	1.00	0.25		0.40		0.34							
ヘルパンギーナ		1	4				5	25	2	76	3	14		120	
		0.33	0.50				0.17								
流行性耳下腺炎					1		1	2	2	8	5	12		29	
					0.10		0.03								
流行性角結膜炎								1	1					2	
細菌性髄膜炎												2		2	
無菌性髄膜炎												2		2	
マイコプラズマ肺炎										1	7	1		9	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）								1						1	
インフルエンザによる入院患者（※2）											1	8		9	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 ※1 その他は県外、居住地非公表分です。 ※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和2年第36週（8月31日）～の集計です。